

首都圏の10局が徹底討論

「都市型災害に強い ケーブルテレビ」 の作り方

「災害に強いケーブルテレビ」について各地のケーブルテレビ事業者に討論してもらう全国巡回座談会「全国の各地域で考える「ケーブルテレビの災害対応」」の第2回目は「首都圏編」。都市型災害への対応について、①災害時の重要サービス、②自局の災害対策という論点で、首都圏のケーブルテレビ事業者10局が話し合った。数々の災害対策の実例や直面している課題が挙げられた。（渡辺 元・本誌編集部）

ビルや住宅が密集している東京都心

座談会参加者（社名五十音順）

イツ・コミュニケーションズ(株) 内部統制グループシニアマネージャー 清田 潤氏
 入間ケーブルテレビ(株) 取締役副社長 鈴木豊士氏
 入間ケーブルテレビ(株) 管理部部長 佐藤敏光氏
 湘南ケーブルネットワーク(株) 営業本部営業部 次長 間中 玲氏
 東京ケーブルネットワーク(株) お客様センター統括部長 遠藤昌男氏
 (財)東京ケーブルビジョン 営業本部技術・企画部部长 白取信人氏
 東京ベイネットワーク(株) 技術部部长 沢井孝広氏
 (株)ビック東海 管理本部総務部次長 大川恵二氏
 (株)ビック東海 CATV本部業務部業務課課長 大沼孝文氏
 本庄ケーブルテレビ(株) 営業本部営業課長 中根 努氏
 (株)南東京ケーブルテレビ 管理企画部長 樋口哲也氏
 YOUテレビ(株) 技術部部长 梅田 穰氏
 司会 月刊ニューメディア編集部 渡辺 元

デジタルサイネージも活用

— まず、皆さんのケーブルテレビでは地震や風水害などの災害時にどのようなサービスが重要であるとお考えなのかをお聞きします。サービスには、地上波再送信、コミュニティチャンネル、インターネット、電話、緊急地震速報など、さまざまなものがあります。これらのサービスの中で、災害時にも停止させない、たとえ停止してしまったとしても優先的に復旧させるべきものは何だとお考えでしょうか。

●イツ・コミュニケーションズ・清田 弊社では重要業務の洗い出しを進めています。その過程で比較的重要度が高いと考えているのが、インターネットと電話サービスです。

インターネットと電話は緊急時に連絡を取り合うという点で切実なサービスです。弊社がインターネット接続と固定電話に注目しているのは、災害時にはどのライフラインがダメージを受け、何が生き残るかが予測できないからです。市民の方はとにかく生きていくライフラインで通信しようと思います。しかし携帯電話には輻輳という問題があります。そのため固定電話とインターネットのそれぞれの復旧に力を注いでいくべきだと考えています。



イツ・コミュニケーションズ(株) 内部統制グループシニアマネージャー 清田 潤氏

